

令和4年9月16日

【照会先】

保険局 調査課

課長 鈴木 健二 (内線3291)

医療費解析官 細川 聡一郎(内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

報道関係者 各位

「令和3年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和3年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和3年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆7,059億円（伸び率+2.8%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,648円（伸び率▲2.0%）であった。

その内訳は、技術料が2兆103億円（伸び率+7.1%）、薬剤料が5兆6,800億円（+1.3%）、特定保険医療材料が156億円（伸び率+3.9%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,391億円（伸び率+0.5%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,262円と、0歳以上5歳未満の3,503円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和3年度末の数量ベース（新指標）で82.1%（伸び幅▲0.0%）、数量ベース（旧指標）で59.1%（伸び幅+0.0%）、薬剤料ベースで20.2%（伸び幅▲1.2%）であり、後発医薬品調剤率が78.8%（伸び幅+1.2%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は▲3.7%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲0.1%、▲0.5%、▲3.2%であった。【表5】

- 令和3年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆2,853億円(+3.2%)、診療所が4兆3,934億円(+2.4%)であり、令和3年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が82.3%(伸び幅▲0.4%)、診療所が82.0%(伸び幅+0.1%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の89.0%(伸び幅▲1.5%)、最も低かったのが国保組合で80.5%(伸び幅+0.0%)であった。【表14、表15】
- 令和3年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は85.6%、次いで大きい消化器官用薬は89.6%であった。【表16】

「令和3年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和3年度の調剤報酬明細書情報 合計約6.6億件分

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～令和3年度版～

1. 調剤医療費等の全数と電算処理分の比較

令和3年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆7,059億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同じ)+2.8%)で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,648円(▲2.0%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1 調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

		実数						対前年度比(%)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全数	調剤医療費(億円)	74,953	77,129	74,746	77,464	75,447	77,515	2.9	▲3.1	3.6	▲2.6	2.7
	処方箋枚数(万枚)	82,999	83,886	84,361	84,284	76,497	80,205	1.1	0.6	▲0.1	▲9.2	4.8
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,031	9,195	8,860	9,191	9,863	9,665	1.8	▲3.6	3.7	7.3	▲2.0
電算処理分	調剤医療費(億円)	74,395	76,664	74,279	77,025	74,987	77,059	3.1	▲3.1	3.7	▲2.6	2.8
	電算化率(%)	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	—	—	—	—	—
	処方箋枚数(万枚)	82,527	83,445	83,930	83,869	76,135	79,870	1.1	0.6	▲0.1	▲9.2	4.9
	電算化率(%)	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	1.9	▲3.7	3.8	7.2	▲2.0
	電算処理分/全数	0.998	0.999	0.999	0.999	0.999	0.999	—	—	—	—	—

注1) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注3) 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費(患者負担分を含む。)のうち、審査支払機関による審査分(再審査分等調整前)を集計対象としたものである。

注4) 「電算処理分」とは、「全数」のうち、レセプト電算処理システムにより処理された明細書(いわゆる「電子レセプト」)を集計対象としたものである。次表以降、特に注意書きがない場合、「電算処理分」の集計値である。

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が2兆103億円(伸び率+7.1%)、薬剤料が5兆6,800億円(+1.3%)で、特定保険医療材料料が156億円(+3.9%)であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,648円(伸び率▲2.0%)で、その内訳は、技術料が2,517円(+2.0%)、薬剤料が7,112円(▲3.4%)で、特定保険医療材料料が20円(▲1.0%)であった。

構成割合は技術料が26.1%、薬剤料が73.7%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調剤医療費	74,395	76,664	74,279	77,025	74,987	77,059	3.1	▲ 3.1	3.7	▲ 2.6	2.8
技術料	18,490	19,122	19,311	19,771	18,779	20,103	3.4	1.0	2.4	▲ 5.0	7.1
調剤技術料	14,834	15,423	15,294	15,773	15,046	16,136	4.0	▲ 0.8	3.1	▲ 4.6	7.2
調剤基本料	5,055	5,478	5,336	5,666	5,536	6,202	8.4	▲ 2.6	6.2	▲ 2.3	12.0
調剤料	8,415	8,554	8,548	8,649	8,101	8,456	1.7	▲ 0.1	1.2	▲ 6.3	4.4
加算料	1,364	1,391	1,411	1,458	1,409	1,478	2.0	1.4	3.3	▲ 3.3	4.9
薬学管理料	3,656	3,699	4,016	3,998	3,733	3,967	1.2	8.6	▲ 0.5	▲ 6.6	6.3
薬剤料	55,778	57,413	54,834	57,114	56,058	56,800	2.9	▲ 4.5	4.2	▲ 1.8	1.3
内服薬	45,838	46,712	44,346	46,021	44,878	45,267	1.9	▲ 5.1	3.8	▲ 2.5	0.9
屯服薬他	378	381	344	344	326	327	0.9	▲ 9.9	0.2	▲ 5.4	0.4
注射薬	2,563	2,884	3,052	3,551	3,964	4,488	12.5	5.8	16.3	11.6	13.2
外用薬	6,998	7,436	7,092	7,198	6,891	6,717	6.3	▲ 4.6	1.5	▲ 4.3	▲ 2.5
(再掲)後発医薬品	8,636	10,092	10,245	10,959	11,337	11,391	16.9	1.5	7.0	3.4	0.5
特定保険医療材料料	128	130	134	140	150	156	1.6	3.8	4.4	7.2	3.9

注1)「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2)「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3)「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調剤医療費	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	1.9	▲ 3.7	3.8	7.2	▲ 2.0
技術料	2,240	2,292	2,301	2,357	2,467	2,517	2.3	0.4	2.5	4.6	2.0
構成割合(%)	24.9	24.9	26.0	25.7	25.0	26.1	-	-	-	-	-
調剤技術料	1,797	1,848	1,822	1,881	1,976	2,020	2.8	▲ 1.4	3.2	5.1	2.2
調剤基本料	612	656	636	676	727	777	7.2	▲ 3.2	6.3	7.6	6.8
調剤料	1,020	1,025	1,018	1,031	1,064	1,059	0.5	▲ 0.7	1.3	3.2	▲ 0.5
加算料	165	167	168	174	185	185	0.8	0.9	3.4	6.5	▲ 0.0
薬学管理料	443	443	479	477	490	497	0.1	8.0	▲ 0.4	2.8	1.3
薬剤料	6,759	6,880	6,533	6,810	7,363	7,112	1.8	▲ 5.0	4.2	8.1	▲ 3.4
構成割合(%)	75.0	74.9	73.8	74.1	74.8	73.7	-	-	-	-	-
内服薬	5,554	5,598	5,284	5,487	5,894	5,668	0.8	▲ 5.6	3.9	7.4	▲ 3.8
屯服薬他	46	46	41	41	43	41	▲ 0.3	▲ 10.4	0.3	4.2	▲ 4.3
注射薬	311	346	364	423	521	562	11.3	5.2	16.4	23.0	7.9
外用薬	848	891	845	858	905	841	5.1	▲ 5.2	1.6	5.5	▲ 7.1
(再掲)後発医薬品	1,046	1,209	1,221	1,307	1,489	1,426	15.6	0.9	7.0	14.0	▲ 4.2
特定保険医療材料料	15	16	16	17	20	20	0.5	3.2	4.4	18.1	▲ 1.0
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	-	-

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,262円と、0歳以上5歳未満の3,503円の約3.2倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
総数	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	1.9	▲ 3.7	3.8	7.2	▲ 2.0
0歳以上5歳未満	3,250	3,275	3,197	3,281	3,623	3,503	0.7	▲ 2.4	2.6	10.5	▲ 3.3
5歳以上10歳未満	4,605	4,725	4,571	4,752	5,547	5,400	2.6	▲ 3.3	4.0	16.7	▲ 2.7
10歳以上15歳未満	5,742	6,024	6,040	6,393	7,484	7,379	4.9	0.3	5.8	17.1	▲ 1.4
15歳以上20歳未満	5,937	6,261	6,326	6,665	7,505	7,585	5.5	1.0	5.4	12.6	1.1
20歳以上25歳未満	5,980	6,230	6,176	6,534	7,336	7,379	4.2	▲ 0.9	5.8	12.3	0.6
25歳以上30歳未満	6,290	6,544	6,435	6,710	7,496	7,489	4.0	▲ 1.7	4.3	11.7	▲ 0.1
30歳以上35歳未満	6,734	6,930	6,749	7,054	7,878	7,775	2.9	▲ 2.6	4.5	11.7	▲ 1.3
35歳以上40歳未満	7,410	7,585	7,360	7,681	8,535	8,456	2.4	▲ 3.0	4.4	11.1	▲ 0.9
40歳以上45歳未満	8,347	8,467	8,222	8,511	9,288	9,198	1.4	▲ 2.9	3.5	9.1	▲ 1.0
45歳以上50歳未満	9,059	9,185	8,881	9,211	9,888	9,798	1.4	▲ 3.3	3.7	7.3	▲ 0.9
50歳以上55歳未満	9,390	9,487	9,162	9,476	10,109	10,054	1.0	▲ 3.4	3.4	6.7	▲ 0.5
55歳以上60歳未満	9,816	9,860	9,479	9,763	10,308	10,193	0.4	▲ 3.9	3.0	5.6	▲ 1.1
60歳以上65歳未満	10,063	10,131	9,706	10,022	10,505	10,343	0.7	▲ 4.2	3.3	4.8	▲ 1.5
65歳以上70歳未満	10,370	10,446	9,988	10,311	10,733	10,565	0.7	▲ 4.4	3.2	4.1	▲ 1.6
70歳以上75歳未満	10,614	10,763	10,289	10,623	11,024	10,896	1.4	▲ 4.4	3.2	3.8	▲ 1.2
75歳以上80歳未満	10,978	11,126	10,638	10,955	11,312	11,163	1.3	▲ 4.4	3.0	3.3	▲ 1.3
80歳以上85歳未満	11,209	11,447	10,919	11,211	11,448	11,262	2.1	▲ 4.6	2.7	2.1	▲ 1.6
85歳以上90歳未満	11,104	11,409	10,890	11,179	11,262	11,048	2.8	▲ 4.6	2.7	0.7	▲ 1.9
90歳以上95歳未満	10,294	10,633	10,191	10,483	10,459	10,242	3.3	▲ 4.2	2.9	▲ 0.2	▲ 2.1
95歳以上100歳未満	8,778	9,071	8,738	9,060	9,051	8,988	3.3	▲ 3.7	3.7	▲ 0.1	▲ 0.7
100歳以上	7,016	7,225	7,014	7,295	7,332	7,386	3.0	▲ 2.9	4.0	0.5	0.7

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和3年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で82.1%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ)▲0.0%)、数量ベース(旧指標)で59.1%(+0.0%)、薬剤料ベースで20.2%(▲1.2%)であり、後発医薬品調剤率は78.8%(+1.2%)であった。

年度毎の平均で見ると、令和3年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では82.0%(+0.6%)、旧指標では59.1%(+1.5%)、薬剤料ベースでは20.1%(▲0.2%)であり、後発医薬品調剤率は78.2%(+1.5%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が75%以上の薬局数は令和2年度3月で81.7%であったところ、令和3年度3月では82.3%(+0.7%)となっており、うち85%以上の薬局数は令和2年度3月で52.0%であったところ、令和3年度3月では51.0%(▲1.0%)となっていた。

表4-1 令和3年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	80.4	82.1	82.4	82.4	82.4	81.7	81.7	81.6	81.7	81.9	81.8	81.9	82.1	82.1
数量ベース(旧指標)	55.4	59.1	59.4	59.3	59.2	59.4	59.3	59.1	59.0	59.0	58.7	58.9	59.0	59.1
薬剤料ベース	18.6	21.4	20.2	20.0	20.0	20.1	19.9	19.9	20.0	20.1	19.9	20.0	20.2	20.2
後発医薬品調剤率	75.7	77.6	78.0	77.8	77.7	78.0	78.1	77.7	77.9	78.4	78.3	78.8	79.1	78.8

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
数量ベース(新指標)	60.1	66.8	70.2	75.9	79.1	81.4	82.0	6.8	3.4	5.6	3.2	2.3	0.6
数量ベース(旧指標)	40.2	44.5	47.7	52.6	55.0	57.6	59.1	4.3	3.2	4.8	2.4	2.6	1.5
薬剤料ベース	14.2	15.5	17.6	18.7	19.2	20.2	20.1	1.3	2.1	1.1	0.5	1.0	▲0.2
後発医薬品調剤率	63.1	67.0	69.4	73.0	75.2	76.7	78.2	3.9	2.4	3.6	2.2	1.5	1.5

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(平成25年4月公表)を参照)。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時的に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなる可能性がある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

注6) 「-」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	10%以上 20%未満	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	20%以上 30%未満	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
	30%以上 40%未満	1.0	0.6	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
	40%以上 50%未満	2.3	1.7	1.6	1.6	1.5	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5	1.4
	50%以上 60%未満	1.9	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5
	55%以上 60%未満	2.7	2.3	2.1	2.1	2.2	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.1	2.1	2.2
	60%以上 65%未満	3.8	3.1	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0
	65%以上 70%未満	4.8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9
	70%以上 75%未満	5.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.5	4.7	4.7	4.6
	75%以上 80%未満	10.3	8.7	8.5	8.6	8.8	9.8	9.8	10.2	9.9	9.5	9.6	9.6	9.3
	80%以上 85%未満	23.6	21.0	20.3	20.5	20.5	22.4	22.6	22.6	22.3	22.0	22.2	22.3	22.2
	85%以上 90%未満	27.9	33.0	33.2	33.3	33.7	33.8	33.6	33.5	33.7	33.9	33.9	34.0	33.9
	90%以上 95%未満	13.3	16.3	17.2	17.0	16.7	13.7	13.7	13.3	13.8	14.5	14.2	14.3	15.0
	95%以上	2.1	2.7	2.9	2.8	2.7	2.0	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1	2.0	1.9
合	40%未満	1.5	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9
	75%以上	77.2	81.7	82.1	82.2	82.3	81.6	81.7	81.6	81.7	82.0	82.0	82.1	82.3
	75%以上 80%未満	10.3	8.7	8.5	8.6	8.8	9.8	9.8	10.2	9.9	9.5	9.6	9.3	8.8
	80%以上 85%未満	23.6	21.0	20.3	20.5	20.5	22.4	22.6	22.6	22.3	22.0	22.2	22.3	22.2
85%以上	43.3	52.0	53.3	53.2	53.1	49.4	49.2	48.8	49.5	50.6	50.2	50.2	50.9	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,666円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.76、28.1日、73円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率▲3.7%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲0.1%、▲0.5%、▲3.2%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円)	5,548	5,590	5,273	5,478	5,886	5,666	0.8	▲ 5.7	3.9	7.4	▲ 3.7
処方箋1枚当たり薬剤種類数	2.83	2.81	2.80	2.79	2.76	2.76	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.1
1種類当たり投薬日数(日)	23.1	23.6	24.1	25.0	28.2	28.1	2.1	2.3	3.6	12.7	▲ 0.5
1種類1日当たり薬剤料(円)	85	84	78	79	76	73	▲ 0.4	▲ 7.4	0.5	▲ 3.7	▲ 3.2

注1) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注2) 「処方箋1枚当たり薬剤種類数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごとに、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤を同一種類として数えた延種類数(薬剤延種類数)の合計値(内服薬のみ)を、処方箋受付回数(内服薬が含まれない処方箋受付回も含む。)で除して算出している。

注3) 「1種類当たり投薬日数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)を、薬剤延種類数の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

注4) 「1種類1日当たり薬剤料」については、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料の合計値(内服薬のみ)を、「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が8,130億円と最も高く、次いで循環器官用薬が7,574億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+11.6%と最も高く、ビタミン剤が▲17.5%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,871億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が1,701億円となっている。伸び率は、中枢神経系用薬が+15.1%と最も高く、腫瘍用薬が▲12.9%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)						対前年度比(%)			
				後発医薬品(億円)(再掲)					後発医薬品(再掲)	
	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 2年度	令和 3年度
内服薬 総数	45,942	44,811	45,251	9,580	9,804	9,726	▲ 2.5	1.0	2.3	▲ 0.8
11 中枢神経系用薬	7,999	7,501	6,978	1,218	1,478	1,701	▲ 6.2	▲ 7.0	21.4	15.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	474	460	407	158	158	174	▲ 2.8	▲ 11.6	▲ 0.4	10.3
114 解熱鎮痛消炎剤	945	723	633	205	275	293	▲ 23.4	▲ 12.5	34.4	6.7
116 抗パーキンソン剤	675	673	679	66	68	63	▲ 0.2	0.9	3.5	▲ 6.4
117 精神神経用剤	2,500	2,480	2,396	426	427	462	▲ 0.8	▲ 3.4	0.4	8.0
119 その他中枢神経系用薬	2,545	2,261	1,943	269	452	605	▲ 11.2	▲ 14.1	68.3	33.9
21 循環器官用薬	8,267	7,787	7,574	2,965	2,971	2,871	▲ 5.8	▲ 2.7	0.2	▲ 3.4
212 不整脈用剤	315	290	280	146	151	149	▲ 7.9	▲ 3.5	3.4	▲ 1.3
214 血圧降下剤	3,019	2,866	2,707	1,179	1,112	1,096	▲ 5.1	▲ 5.6	▲ 5.7	▲ 1.4
217 血管拡張剤	860	786	715	590	563	523	▲ 8.6	▲ 9.0	▲ 4.6	▲ 7.1
218 高脂血症用剤	2,263	2,050	1,904	818	881	842	▲ 9.4	▲ 7.1	7.8	▲ 4.4
22 呼吸器官用薬	396	270	280	216	162	172	▲ 31.9	3.8	▲ 24.8	5.9
23 消化器官用薬	4,116	4,237	4,344	1,286	1,259	1,198	2.9	2.5	▲ 2.0	▲ 4.8
232 消化性潰瘍用剤	2,592	2,604	2,603	799	749	690	0.5	▲ 0.1	▲ 6.2	▲ 7.8
239 その他の消化器官用薬	624	635	660	132	142	130	1.8	3.8	7.7	▲ 8.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	822	804	872	140	203	218	▲ 2.2	8.5	45.0	7.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,257	1,190	1,101	202	236	254	▲ 5.3	▲ 7.4	17.0	7.8
31 ビタミン剤	1,015	849	701	247	339	352	▲ 16.4	▲ 17.5	37.4	3.9
32 滋養強壮薬	526	552	580	44	43	43	5.0	5.1	▲ 2.3	▲ 0.5
325 蛋白アミノ酸製剤	439	463	485	18	17	13	5.3	4.8	▲ 4.3	▲ 24.0
33 血液・体液用薬	3,533	3,353	3,436	749	691	653	▲ 5.1	2.5	▲ 7.7	▲ 5.6
39 その他の代謝性医薬品	7,438	7,711	8,130	811	834	817	3.7	5.4	2.9	▲ 2.0
396 糖尿病用剤	3,711	3,886	4,073	239	247	243	4.7	4.8	3.3	▲ 1.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,950	3,073	3,276	474	496	483	4.2	6.6	4.7	▲ 2.6
42 腫瘍用薬	4,261	4,677	5,222	378	363	316	9.8	11.6	▲ 4.0	▲ 12.9
422 代謝拮抗剤	245	201	177	97	99	90	▲ 17.9	▲ 11.9	1.4	▲ 8.5
429 その他の腫瘍用薬	3,981	4,444	5,009	264	246	215	11.6	12.7	▲ 6.9	▲ 12.4
44 アレルギー用薬	2,158	1,962	1,863	837	863	795	▲ 9.1	▲ 5.0	3.1	▲ 7.8
52 漢方製剤	1,247	1,286	1,393	-	-	-	3.1	8.3	-	-
61 抗生物質製剤	558	404	397	206	121	112	▲ 27.5	▲ 1.7	▲ 41.1	▲ 8.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	248	171	171	86	35	34	▲ 31.0	▲ 0.3	▲ 59.9	▲ 0.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	177	103	92	94	58	52	▲ 41.5	▲ 11.3	▲ 37.9	▲ 11.3
62 化学療法剤	1,895	1,580	1,528	211	164	145	▲ 16.6	▲ 3.3	▲ 22.0	▲ 11.5
624 合成抗菌剤	218	122	117	64	41	38	▲ 44.1	▲ 3.6	▲ 35.6	▲ 8.1
625 抗ウイルス剤	1,435	1,222	1,158	94	72	62	▲ 14.8	▲ 5.3	▲ 22.9	▲ 14.9

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が1,018円と最も高く、次いで循環器官用薬が948円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+6.4%と最も高く、ビタミン剤が▲21.3%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	5,548	5,590	5,273	5,478	5,886	5,666	0.8	▲ 5.7	3.9	7.4	▲ 3.7
11 中枢神経系用薬	929	976	941	954	985	874	5.1	▲ 3.7	1.4	3.3	▲ 11.3
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	65	65	58	56	60	51	0.1	▲ 11.0	▲ 2.8	7.1	▲ 15.7
114 解熱鎮痛消炎剤	120	124	121	113	95	79	2.9	▲ 2.4	▲ 6.6	▲ 15.7	▲ 16.6
116 抗パーキンソン剤	84	85	77	80	88	85	1.5	▲ 9.4	4.5	9.9	▲ 3.8
117 精神神経用剤	305	321	300	298	326	300	5.3	▲ 6.6	▲ 0.6	9.3	▲ 7.9
119 その他中枢神経系用薬	277	293	291	303	297	243	5.9	▲ 0.6	4.1	▲ 2.1	▲ 18.1
21 循環器官用薬	1,204	1,169	982	986	1,023	948	▲ 2.9	▲ 16.1	0.4	3.8	▲ 7.3
212 不整脈用剤	54	52	39	38	38	35	▲ 3.8	▲ 25.0	▲ 2.9	1.5	▲ 8.0
214 血圧降下剤	528	484	375	360	377	339	▲ 8.3	▲ 22.4	▲ 4.0	4.6	▲ 10.0
217 血管拡張剤	131	128	107	103	103	90	▲ 2.0	▲ 17.0	▲ 3.7	0.6	▲ 13.3
218 高脂血症用剤	321	317	264	270	269	238	▲ 1.4	▲ 16.8	2.3	▲ 0.2	▲ 11.5
22 呼吸器官用薬	54	52	48	47	35	35	▲ 3.9	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 24.9	▲ 1.1
23 消化器官用薬	473	495	460	491	557	544	4.7	▲ 7.0	6.6	13.4	▲ 2.3
232 消化性潰瘍用剤	319	333	298	309	342	326	4.4	▲ 10.7	3.8	10.7	▲ 4.7
239 その他の消化器官用薬	66	69	70	74	83	83	5.2	0.6	6.6	12.2	▲ 1.0
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	77	80	82	98	106	109	4.0	3.3	19.0	7.7	3.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	159	164	156	150	156	138	2.8	▲ 5.0	▲ 3.7	4.3	▲ 11.8
31 ビタミン剤	112	116	115	121	112	88	3.7	▲ 1.2	5.2	▲ 7.9	▲ 21.3
32 滋養強壮薬	61	62	60	63	73	73	1.3	▲ 2.8	4.7	15.7	0.2
325 蛋白アミノ酸製剤	52	52	50	52	61	61	0.7	▲ 3.7	4.5	16.0	▲ 0.1
33 血液・体液用薬	393	414	399	421	440	430	5.4	▲ 3.7	5.6	4.5	▲ 2.3
39 その他の代謝性医薬品	767	816	818	887	1,013	1,018	6.4	0.3	8.3	14.2	0.5
396 糖尿病用剤	383	409	409	442	510	510	7.0	0.0	8.1	15.4	▲ 0.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	307	328	326	352	404	410	6.6	▲ 0.5	7.9	14.8	1.6
42 腫瘍用薬	352	386	425	508	614	654	9.6	10.1	19.5	20.9	6.4
422 代謝拮抗剤	47	42	34	29	26	22	▲ 11.7	▲ 17.8	▲ 15.2	▲ 9.6	▲ 16.0
429 その他の腫瘍用薬	297	337	386	475	584	627	13.3	14.6	23.0	23.0	7.5
44 アレルギー用薬	306	298	260	257	258	233	▲ 2.5	▲ 12.8	▲ 1.0	0.1	▲ 9.5
52 漢方製剤	135	140	141	149	169	174	3.9	0.5	5.5	13.6	3.2
61 抗生物質製剤	93	85	71	66	53	50	▲ 8.9	▲ 16.6	▲ 6.4	▲ 20.2	▲ 6.3
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	43	39	32	30	23	21	▲ 10.1	▲ 16.4	▲ 8.1	▲ 24.0	▲ 5.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	35	30	24	21	14	11	▲ 13.7	▲ 21.5	▲ 10.6	▲ 35.5	▲ 15.5
62 化学療法剤	391	295	275	226	208	191	▲ 24.5	▲ 6.7	▲ 18.0	▲ 8.1	▲ 7.8
624 合成抗菌剤	41	36	28	26	16	15	▲ 10.8	▲ 21.6	▲ 8.6	▲ 38.4	▲ 8.1
625 抗ウイルス剤	328	236	224	171	161	145	▲ 28.0	▲ 5.3	▲ 23.5	▲ 6.2	▲ 9.7

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.67と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.47となっている。伸び率は、呼吸器官用薬が+13.8%で最も高く、ビタミン剤が▲5.2%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

	実数						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	2.83	2.81	2.80	2.79	2.76	2.76	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.1
11 中枢神経系用薬	0.45	0.45	0.45	0.45	0.47	0.47	0.1	▲ 0.8	0.1	4.9	▲ 1.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.12	0.12	0.12	0.11	0.12	0.11	▲ 1.8	▲ 3.7	▲ 3.0	7.6	▲ 5.7
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 3.8	2.2
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 2.4	▲ 2.0	▲ 1.1	6.8	▲ 4.0
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	▲ 0.1	▲ 0.3	0.9	10.1	▲ 1.5
119 その他中枢神経系用薬	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	0.07	8.1	7.8	7.5	14.3	5.5
21 循環器官用薬	0.60	0.60	0.60	0.61	0.67	0.67	▲ 0.4	0.4	1.6	9.8	▲ 0.5
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	2.5	3.4	4.4	12.6	1.4
214 血圧降下剤	0.21	0.20	0.20	0.20	0.22	0.21	▲ 1.4	▲ 0.8	0.4	8.3	▲ 1.9
217 血管拡張剤	0.14	0.14	0.14	0.14	0.16	0.15	▲ 0.6	0.0	1.2	9.2	▲ 1.4
218 高脂血症用剤	0.14	0.14	0.15	0.15	0.17	0.17	1.3	2.8	4.1	11.9	1.7
22 呼吸器官用薬	0.27	0.25	0.25	0.24	0.13	0.15	▲ 4.1	▲ 1.2	▲ 5.0	▲ 44.5	13.8
23 消化器官用薬	0.46	0.45	0.44	0.44	0.45	0.44	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 0.9	2.5	▲ 1.2
232 消化性潰瘍用剤	0.23	0.23	0.22	0.22	0.23	0.22	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 1.0	4.5	▲ 2.6
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 2.7	▲ 0.3	▲ 1.4	1.8	0.2
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	1.2	1.7	2.9	5.5	1.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.6	0.9	4.7	9.9	0.3
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.10	0.1	0.6	1.2	7.9	▲ 5.2
32 滋養強壮薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	1.9	2.4	2.3	11.1	1.9
325 蛋白アミノ酸製剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	2.3	2.5	4.9	16.5	2.0
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.1	▲ 0.4	0.2	▲ 4.5	▲ 1.9
39 その他の代謝性医薬品	0.22	0.22	0.22	0.23	0.25	0.25	0.9	1.0	1.9	9.6	0.3
396 糖尿病用剤	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	0.14	1.3	0.9	2.1	10.6	0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	▲ 1.0	▲ 0.5	0.1	6.3	0.4
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.9	2.8	5.2	12.5	0.5
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 3.4	▲ 3.8	1.3	8.0	▲ 2.1
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	2.7	5.4	6.6	13.9	1.5
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.21	0.20	0.19	0.19	1.3	1.7	▲ 2.3	▲ 8.3	0.4
52 漢方製剤	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	3.1	1.7	2.2	1.3	2.0
61 抗生物質製剤	0.11	0.10	0.09	0.09	0.06	0.06	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 4.6	▲ 29.4	▲ 3.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	▲ 7.1	▲ 7.5	▲ 4.2	▲ 27.6	▲ 2.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	▲ 13.0	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 39.8	▲ 5.4
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	▲ 2.5	2.6	▲ 10.5	▲ 25.8	▲ 1.8
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	▲ 8.8	▲ 7.0	▲ 5.2	▲ 33.8	▲ 3.4
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	13.1	25.5	▲ 29.9	▲ 36.6	▲ 2.5

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の43.0日であり、最も短いのは抗生物質製剤の8.6日である。伸び率は、漢方製剤が+1.2%で最も高く、呼吸器官用薬が▲8.1%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	23.1	23.6	24.1	25.0	28.2	28.1	2.1	2.3	3.6	12.7	▲ 0.5
11 中枢神経系用薬	21.9	22.1	22.6	23.1	24.6	24.7	0.9	2.0	2.2	6.6	0.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23.6	23.9	24.1	24.5	24.9	25.1	0.9	1.1	1.3	2.0	0.6
114 解熱鎮痛消炎剤	15.9	16.2	16.7	17.2	19.7	19.7	2.1	2.9	3.4	14.2	▲ 0.0
116 抗パーキンソン剤	27.5	27.8	28.3	29.0	29.9	29.9	1.3	1.6	2.4	3.4	▲ 0.1
117 精神神経用剤	24.1	23.9	24.2	24.6	25.3	25.4	▲ 0.9	1.2	1.9	2.7	0.5
119 その他中枢神経系用薬	25.0	25.3	25.6	25.9	26.6	26.8	1.0	1.3	1.1	3.0	0.4
21 循環器官用薬	31.8	32.3	32.9	33.7	35.1	35.2	1.5	1.7	2.4	4.2	0.3
212 不整脈用剤	32.6	33.0	33.5	34.2	35.5	35.4	1.3	1.5	2.1	3.9	▲ 0.2
214 血圧降下剤	32.9	33.4	34.0	34.7	36.3	36.4	1.6	1.8	2.3	4.3	0.3
217 血管拡張剤	31.9	32.4	32.9	33.7	35.1	35.3	1.5	1.7	2.3	4.3	0.4
218 高脂血症用剤	33.8	34.3	34.9	35.8	37.4	37.5	1.7	1.7	2.4	4.5	0.4
22 呼吸器官用薬	8.3	8.5	8.7	9.1	12.7	11.6	1.8	2.5	4.5	39.6	▲ 8.1
23 消化器官用薬	23.2	23.7	24.1	24.9	27.2	27.1	2.2	1.8	3.2	9.1	▲ 0.4
232 消化性潰瘍用剤	25.0	25.4	25.9	26.7	28.4	28.5	1.7	2.0	2.8	6.6	0.2
239 その他の消化器官用薬	21.5	22.2	22.6	23.6	26.1	25.9	2.8	2.1	4.2	10.7	▲ 0.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	26.8	27.3	28.0	29.2	32.1	32.3	2.1	2.4	4.1	10.2	0.5
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	33.0	33.4	33.8	34.1	35.8	36.0	1.2	1.2	1.0	4.9	0.5
31 ビタミン剤	27.4	27.9	28.5	29.3	30.6	30.8	1.7	2.1	2.7	4.5	0.6
32 滋養強壮薬	26.1	26.4	26.7	27.0	27.6	27.7	1.0	1.1	1.4	2.2	0.1
325 蛋白アミノ酸製剤	20.4	20.3	20.4	20.5	20.7	20.4	▲ 0.3	0.2	0.6	0.9	▲ 1.3
33 血液・体液用薬	26.9	26.9	27.3	27.7	31.5	30.9	0.2	1.2	1.5	13.6	▲ 1.6
39 その他の代謝性医薬品	28.9	29.4	30.0	30.8	32.3	32.4	1.7	2.1	2.9	4.7	0.4
396 糖尿病用剤	33.3	33.7	34.3	35.1	36.6	36.6	1.2	1.7	2.4	4.2	0.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	15.5	15.8	16.3	17.0	18.0	18.3	1.9	2.9	4.2	5.8	2.0
42 腫瘍用薬	40.6	41.3	41.4	42.0	43.4	43.0	1.8	0.3	1.2	3.4	▲ 0.9
422 代謝拮抗剤	20.2	20.3	20.4	20.4	21.0	20.9	0.2	0.6	0.2	2.8	▲ 0.7
429 その他の腫瘍用薬	48.7	49.1	48.5	48.8	50.1	49.4	0.9	▲ 1.2	0.6	2.7	▲ 1.5
44 アレルギー用薬	17.1	17.7	18.5	19.7	24.0	23.7	3.8	4.5	6.4	22.0	▲ 1.1
52 漢方製剤	20.8	21.0	21.4	22.0	24.9	25.2	0.9	1.6	3.2	13.2	1.2
61 抗生物質製剤	6.5	6.7	6.9	7.2	8.6	8.6	3.1	3.9	3.7	19.1	0.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.8	4.8	4.9	5.0	5.1	5.1	1.2	1.6	1.6	1.5	0.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8.0	8.5	8.9	9.4	12.9	13.0	5.4	5.1	5.1	37.6	0.6
62 化学療法剤	10.3	10.6	10.3	11.7	15.4	15.6	2.7	▲ 2.9	13.6	32.2	0.9
624 合成抗菌剤	5.4	5.4	5.5	5.6	6.0	6.0	1.4	1.3	1.5	6.6	0.5
625 抗ウイルス剤	12.1	11.3	8.8	12.3	19.3	19.6	▲ 7.3	▲ 21.6	39.8	56.2	1.5

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の2,109円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の20円であった。

伸び率は、腫瘍用薬が+6.9%で最も高く、ビタミン剤が▲17.5%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	85	84	78	79	76	73	▲0.4	▲7.4	0.5	▲3.7	▲3.2
11 中枢神経系用薬	93	97	93	92	85	76	4.1	▲4.7	▲0.9	▲7.7	▲10.6
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23	23	21	21	20	18	1.0	▲8.7	▲1.2	▲2.5	▲11.1
114 解熱鎮痛消炎剤	73	73	70	64	49	40	0.7	▲4.2	▲9.0	▲23.2	▲18.4
116 抗パーキンソン剤	189	194	177	183	182	182	2.6	▲9.0	3.3	▲0.4	0.2
117 精神神経用剤	107	113	105	101	98	91	6.3	▲7.5	▲3.3	▲3.4	▲7.0
119 その他中枢神経系用薬	233	226	205	197	164	127	▲3.1	▲9.0	▲4.2	▲16.9	▲22.7
21 循環器官用薬	63	60	49	48	43	40	▲4.0	▲17.8	▲3.5	▲9.3	▲7.1
212 不整脈用剤	53	49	35	32	28	25	▲7.4	▲28.6	▲8.9	▲13.3	▲9.2
214 血圧降下剤	78	72	55	51	48	44	▲8.5	▲23.2	▲6.6	▲7.5	▲8.5
217 血管拡張剤	29	28	23	21	19	16	▲2.9	▲18.4	▲7.0	▲11.7	▲12.5
218 高脂血症用剤	68	65	52	50	42	37	▲4.3	▲20.4	▲4.0	▲14.7	▲13.3
22 呼吸器官用薬	25	24	22	22	21	20	▲1.6	▲8.6	▲1.5	▲3.1	▲5.3
23 消化器官用薬	44	47	43	45	46	45	4.9	▲7.3	4.2	1.4	▲0.7
232 消化性潰瘍用剤	55	58	51	52	52	51	5.0	▲10.7	2.0	▲0.7	▲2.4
239 その他の消化器官用薬	81	86	85	88	87	87	5.1	▲1.2	3.8	▲0.5	▲0.6
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	58	59	58	65	60	61	0.7	▲0.8	11.1	▲7.4	1.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	123	125	116	105	95	84	1.0	▲7.0	▲9.0	▲9.5	▲12.4
31 ビタミン剤	42	43	41	42	34	28	1.8	▲3.9	1.3	▲18.3	▲17.5
32 滋養強壮薬	90	89	84	84	86	84	▲1.6	▲6.2	0.9	1.8	▲1.7
325 蛋白アミノ酸製剤	451	445	417	413	408	404	▲1.3	▲6.3	▲1.0	▲1.3	▲0.8
33 血液・体液用薬	102	107	102	106	102	104	5.0	▲4.5	3.8	▲3.7	1.2
39 その他の代謝性医薬品	122	126	123	127	126	126	3.7	▲2.7	3.4	▲0.5	▲0.2
396 糖尿病用剤	99	103	100	103	104	103	4.4	▲2.6	3.3	0.1	▲0.6
399 他に分類されない代謝性医薬品	370	391	380	393	401	398	5.6	▲2.8	3.5	2.0	▲0.8
42 腫瘍用薬	1,481	1,582	1,689	1,897	1,973	2,109	6.8	6.8	12.3	4.0	6.9
422 代謝拮抗剤	1,569	1,433	1,215	1,015	827	714	▲8.7	▲15.2	▲16.5	▲18.5	▲13.7
429 その他の腫瘍用薬	1,451	1,586	1,745	2,001	2,103	2,262	9.3	10.0	14.7	5.1	7.5
44 アレルギー用薬	89	82	68	64	58	53	▲7.3	▲18.0	▲4.8	▲10.5	▲8.8
52 漢方製剤	81	81	79	79	78	78	▲0.1	▲2.7	0.0	▲0.9	▲0.1
61 抗生物質製剤	134	130	113	107	102	98	▲2.8	▲13.1	▲5.3	▲5.0	▲3.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	145	138	123	116	120	117	▲4.4	▲11.0	▲5.6	3.4	▲3.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	105	99	81	74	58	51	▲5.9	▲17.6	▲8.8	▲22.1	▲11.2
62 化学療法剤	998	752	705	569	532	496	▲24.6	▲6.3	▲19.3	▲6.4	▲6.9
624 合成抗菌剤	317	306	254	242	211	200	▲3.5	▲16.9	▲4.9	▲12.7	▲5.3
625 抗ウイルス剤	3,482	2,388	2,299	1,794	1,701	1,552	▲31.4	▲3.8	▲22.0	▲5.2	▲8.7

注)表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器用薬が359円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が213円となっている。伸び率は、中枢神経系用薬が+9.7%で最も高く、腫瘍用薬が▲17.0%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	927	1,076	1,079	1,142	1,288	1,218	16.0	0.3	5.9	12.7	▲ 5.4
11 中枢神経系用薬	107	120	121	145	194	213	12.2	0.7	20.1	33.7	9.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	17	19	18	19	21	22	6.5	▲ 1.2	2.5	9.7	5.2
114 解熱鎮痛消炎剤	14	16	18	24	36	37	8.0	13.3	38.8	48.1	1.7
116 抗パーキンソン剤	4	5	7	8	9	8	30.9	25.7	14.3	14.0	▲ 10.8
117 精神神経用剤	33	39	37	51	56	58	19.5	▲ 5.0	35.4	10.6	2.9
119 その他中枢神経系用薬	33	35	31	32	59	76	7.3	▲ 10.5	2.1	85.4	27.7
21 循環器用薬	258	327	343	353	390	359	26.8	4.9	3.0	10.4	▲ 7.9
212 不整脈用剤	14	15	16	17	20	19	12.4	5.1	9.0	13.9	▲ 5.9
214 血圧降下剤	84	125	137	141	146	137	48.6	10.3	2.3	3.9	▲ 6.0
217 血管拡張剤	72	77	69	70	74	66	6.3	▲ 9.8	1.4	5.1	▲ 11.5
218 高脂血症用剤	68	87	96	97	116	105	29.3	9.9	1.4	18.7	▲ 8.9
22 呼吸器用薬	22	23	24	26	21	21	5.1	7.6	5.6	▲ 17.1	0.9
23 消化器用薬	156	160	152	153	165	150	2.6	▲ 4.9	1.0	7.9	▲ 9.3
232 消化性潰瘍用剤	104	106	97	95	98	86	1.7	▲ 8.8	▲ 1.3	3.3	▲ 12.1
239 その他の消化器用薬	13	14	15	16	19	16	8.9	3.0	6.3	18.6	▲ 12.9
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	4	10	13	17	27	27	180.3	28.2	26.9	59.7	2.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	16	16	15	24	31	32	4.8	▲ 10.7	64.8	28.9	2.8
31 ビタミン剤	33	33	30	29	45	44	▲ 2.6	▲ 8.3	▲ 1.4	51.3	▲ 1.0
32 滋養強壮薬	4	5	5	5	6	5	9.0	6.8	6.0	7.6	▲ 5.1
325 蛋白アミノ酸製剤	2	2	2	2	2	2	7.7	▲ 2.4	4.1	5.4	▲ 27.5
33 血液・体液用薬	88	97	89	89	91	82	10.1	▲ 8.3	0.4	1.6	▲ 10.0
39 その他の代謝性医薬品	80	90	92	97	110	102	13.0	1.5	5.4	13.3	▲ 6.6
396 糖尿病用剤	26	29	28	28	32	30	12.4	▲ 2.0	0.5	13.8	▲ 6.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	42	48	51	56	65	61	13.6	6.5	10.5	15.3	▲ 7.2
42 腫瘍用薬	31	39	40	45	48	40	23.0	2.4	13.9	5.7	▲ 17.0
422 代謝拮抗剤	1	5	8	12	13	11	682.5	63.7	39.8	11.7	▲ 12.8
429 その他の腫瘍用薬	31	33	30	31	32	27	8.8	▲ 10.8	5.4	2.5	▲ 16.5
44 アレルギー用薬	75	98	98	100	113	100	30.0	0.1	1.6	13.5	▲ 12.1
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	26	27	25	25	16	14	2.4	▲ 8.0	0.0	▲ 35.1	▲ 12.3
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	11	11	10	10	5	4	4.1	▲ 7.3	0.2	▲ 55.8	▲ 5.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	14	13	12	11	8	6	▲ 4.0	▲ 11.9	▲ 3.8	▲ 31.6	▲ 15.4
62 化学療法剤	21	25	25	25	22	18	17.1	1.6	0.5	▲ 14.1	▲ 15.6
624 合成抗菌剤	9	9	8	8	5	5	1.3	▲ 9.4	▲ 3.2	▲ 29.0	▲ 12.4
625 抗ウイルス剤	6	9	11	11	10	8	52.2	22.0	2.3	▲ 15.0	▲ 18.9

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の61.3%が最も高く、次いでビタミン剤の50.3%となっている。対前年度差は、ビタミン剤が+10.3%で最も高く、消化器官用薬が▲2.1%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)						対前年度差(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内服薬 総数	16.7	19.2	20.5	20.8	21.9	21.5	2.5	1.2	0.3	1.1	▲0.4
11 中枢神経系用薬	11.5	12.3	12.9	15.2	19.7	24.4	0.8	0.6	2.4	4.5	4.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	26.8	28.5	31.7	33.4	34.2	42.7	1.7	3.2	1.7	0.8	8.5
114 解熱鎮痛消炎剤	12.0	12.5	14.6	21.7	38.0	46.4	0.6	2.0	7.1	16.4	8.4
116 抗パーキンソン剤	5.0	6.4	8.9	9.7	10.1	9.3	1.4	2.5	0.8	0.4	▲0.7
117 精神神経用剤	10.8	12.3	12.5	17.0	17.2	19.3	1.5	0.2	4.5	0.2	2.0
119 その他中枢神経系用薬	11.8	11.9	10.8	10.6	20.0	31.2	0.2	▲1.2	▲0.2	9.4	11.2
21 循環器官用薬	21.4	28.0	35.0	35.9	38.2	37.9	6.6	7.0	0.9	2.3	▲0.2
212 不整脈用剤	25.2	29.4	41.3	46.3	52.0	53.2	4.2	11.8	5.1	5.7	1.2
214 血圧降下剤	15.9	25.7	36.6	39.0	38.8	40.5	9.9	10.9	2.4	▲0.3	1.7
217 血管拡張剤	55.2	59.9	65.1	68.6	71.7	73.2	4.7	5.2	3.5	3.1	1.5
218 高脂血症用剤	21.0	27.6	36.5	36.1	43.0	44.2	6.6	8.9	▲0.3	6.9	1.2
22 呼吸器官用薬	39.7	43.4	50.4	54.4	60.1	61.3	3.7	7.1	4.0	5.7	1.2
23 消化器官用薬	32.9	32.3	33.0	31.2	29.7	27.6	▲0.7	0.7	▲1.7	▲1.5	▲2.1
232 消化性潰瘍用剤	32.6	31.8	32.4	30.8	28.8	26.5	▲0.8	0.7	▲1.6	▲2.1	▲2.2
239 その他の消化器官用薬	20.0	20.7	21.2	21.1	22.3	19.6	0.7	0.5	▲0.1	1.2	▲2.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	4.8	12.9	16.0	17.1	25.3	25.0	8.1	3.1	1.1	8.2	▲0.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	9.8	10.0	9.4	16.1	19.8	23.1	0.2	▲0.6	6.7	3.8	3.3
31 ビタミン剤	29.7	28.0	25.9	24.3	39.9	50.3	▲1.8	▲2.0	▲1.6	15.6	10.3
32 滋養強壮薬	7.0	7.5	8.3	8.4	7.8	7.4	0.5	0.7	0.1	▲0.6	▲0.4
325 蛋白アミノ酸製剤	3.7	4.0	4.0	4.0	3.6	2.6	0.3	0.1	▲0.0	▲0.4	▲1.0
33 血液・体液用薬	22.4	23.4	22.3	21.2	20.6	19.0	1.0	▲1.1	▲1.1	▲0.6	▲1.6
39 その他の代謝性医薬品	10.4	11.1	11.2	10.9	10.8	10.0	0.6	0.1	▲0.3	▲0.1	▲0.8
396 糖尿病用剤	6.7	7.1	6.9	6.4	6.3	6.0	0.3	▲0.1	▲0.5	▲0.1	▲0.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	13.7	14.6	15.7	16.1	16.1	14.8	0.9	1.0	0.4	0.1	▲1.4
42 腫瘍用薬	8.9	10.0	9.3	8.9	7.8	6.1	1.1	▲0.7	▲0.4	▲1.1	▲1.7
422 代謝拮抗剤	1.4	12.1	24.1	39.7	49.0	50.9	10.7	12.0	15.6	9.3	1.9
429 その他の腫瘍用薬	10.3	9.9	7.7	6.6	5.5	4.3	▲0.4	▲2.2	▲1.1	▲1.1	▲1.2
44 アレルギー用薬	24.7	32.9	37.8	38.8	44.0	42.7	8.2	4.9	1.0	5.2	▲1.3
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	27.9	31.3	34.6	37.0	30.0	28.1	3.5	3.3	2.4	▲6.9	▲1.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	24.8	28.7	31.8	34.7	20.2	20.2	3.9	3.1	2.9	▲14.5	▲0.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	39.5	44.0	49.3	53.1	56.3	56.4	4.4	5.4	3.8	3.3	0.0
62 化学療法剤	5.4	8.3	9.1	11.1	10.4	9.5	3.0	0.7	2.0	▲0.7	▲0.9
624 合成抗菌剤	21.1	24.0	27.7	29.3	33.8	32.2	2.9	3.7	1.6	4.5	▲1.6
625 抗ウイルス剤	1.8	3.8	4.9	6.5	5.9	5.3	2.0	1.1	1.7	▲0.6	▲0.6

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い高知県では、技術料の割合が22.8%、薬剤料の割合が77.0%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が31.3%、薬剤料の割合が68.5%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+1.3%(最高:富山県+5.6%、最低:福島県▲1.6%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+0.5%(最高:福岡県+1.8%、最低:岩手県▲1.7%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

令和3年度

	総 額 (単位:億円)								処方箋1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	77,059	20,103	26.1	56,800	11,391	73.7	156	0.2	9,648	2,517	7,112	1,426	20
北海道	3,732	855	22.9	2,870	603	76.9	8	0.2	11,409	2,612	8,772	1,843	25
青 森	921	234	25.4	685	143	74.4	2	0.2	9,968	2,528	7,416	1,553	23
岩 手	839	210	25.0	628	144	74.8	1	0.2	10,320	2,582	7,721	1,770	17
宮 城	1,481	383	25.9	1,095	232	73.9	3	0.2	9,585	2,478	7,084	1,499	23
秋 田	774	185	24.0	587	125	75.8	2	0.2	10,825	2,594	8,208	1,755	24
山 形	701	188	26.8	511	115	72.9	2	0.3	9,450	2,535	6,890	1,547	25
福 島	1,158	296	25.5	861	189	74.3	2	0.1	10,014	2,557	7,443	1,631	15
茨 城	1,771	420	23.7	1,348	272	76.1	3	0.2	10,588	2,508	8,060	1,623	20
栃 木	1,094	283	25.8	808	177	73.9	3	0.3	9,461	2,446	6,990	1,534	25
群 馬	1,025	263	25.7	760	160	74.1	2	0.2	9,717	2,494	7,204	1,521	19
埼 玉	4,014	1,062	26.5	2,945	624	73.4	7	0.2	9,333	2,469	6,847	1,452	17
千 葉	3,525	894	25.4	2,623	544	74.4	7	0.2	9,814	2,489	7,304	1,515	21
東 京	8,840	2,334	26.4	6,490	1,208	73.4	16	0.2	9,338	2,465	6,855	1,276	17
神奈川	5,733	1,508	26.3	4,216	820	73.5	10	0.2	9,361	2,462	6,883	1,339	16
新 潟	1,350	357	26.5	990	220	73.4	2	0.2	9,377	2,481	6,878	1,528	17
富 山	595	143	24.0	451	87	75.8	1	0.3	10,881	2,608	8,246	1,596	27
石 川	657	159	24.2	497	94	75.6	2	0.2	11,193	2,707	8,460	1,608	26
福 井	383	90	23.5	292	56	76.2	1	0.2	10,940	2,574	8,340	1,602	25
山 梨	497	130	26.2	366	81	73.6	1	0.2	9,593	2,513	7,063	1,553	17
長 野	1,296	325	25.1	968	198	74.7	2	0.2	10,692	2,685	7,988	1,636	19
岐 阜	1,132	306	27.1	823	168	72.7	2	0.2	9,202	2,491	6,692	1,367	20
静 岡	2,121	588	27.7	1,528	326	72.1	4	0.2	9,042	2,507	6,517	1,391	19
愛 知	3,995	1,089	27.2	2,899	577	72.6	7	0.2	9,085	2,475	6,593	1,313	17
三 重	1,004	270	26.9	732	148	72.9	2	0.2	9,272	2,492	6,762	1,368	18
滋 賀	810	203	25.0	604	118	74.5	3	0.4	10,319	2,584	7,692	1,497	43
京 都	1,530	350	22.9	1,176	201	76.8	4	0.3	11,383	2,604	8,747	1,495	31
大 阪	5,490	1,434	26.1	4,045	747	73.7	11	0.2	9,849	2,573	7,257	1,341	19
兵 庫	3,470	915	26.4	2,549	475	73.4	6	0.2	9,501	2,506	6,978	1,300	16
奈 良	657	189	28.7	467	96	71.1	1	0.1	8,887	2,553	6,322	1,303	12
和歌山	552	138	24.9	413	77	74.8	2	0.3	10,202	2,540	7,631	1,420	32
鳥 取	355	92	26.0	262	52	73.8	1	0.2	10,278	2,673	7,584	1,511	21
島 根	473	130	27.5	342	73	72.3	1	0.3	9,871	2,712	7,135	1,521	25
岡 山	993	275	27.7	716	153	72.1	2	0.2	9,154	2,539	6,596	1,409	19
広 島	1,825	484	26.5	1,338	254	73.3	4	0.2	9,454	2,506	6,929	1,317	20
山 口	920	255	27.7	664	139	72.2	2	0.2	9,158	2,535	6,608	1,386	15
徳 島	430	109	25.3	320	58	74.5	1	0.2	10,341	2,614	7,705	1,406	21
香 川	653	163	24.9	488	88	74.7	3	0.4	10,289	2,566	7,682	1,380	40
愛 媛	813	200	24.6	610	115	75.1	3	0.3	10,389	2,558	7,798	1,464	33
高 知	507	116	22.8	390	73	77.0	1	0.1	11,754	2,685	9,053	1,704	17
福 岡	3,247	915	28.2	2,327	459	71.6	6	0.2	8,742	2,463	6,263	1,236	15
佐 賀	535	167	31.3	366	79	68.5	1	0.2	8,091	2,532	5,541	1,194	18
長 崎	930	252	27.0	677	140	72.7	2	0.2	9,550	2,583	6,947	1,434	20
熊 本	1,047	285	27.2	760	162	72.6	2	0.2	9,146	2,487	6,638	1,415	22
大 分	767	200	26.1	565	117	73.7	1	0.2	9,950	2,597	7,336	1,521	18
宮 崎	687	191	27.8	495	112	72.0	1	0.2	8,939	2,485	6,440	1,453	15
鹿 児 島	969	281	29.0	687	162	70.8	2	0.2	8,866	2,568	6,282	1,485	17
沖 縄	759	189	24.9	567	127	74.6	3	0.4	10,085	2,515	7,528	1,692	43

注)保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総 額								処方箋1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料 料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料 料		
全 国	2.8	7.1	1.0	1.3	0.5	▲ 1.0	3.9	0.0	▲ 2.0	2.0	▲ 3.4	▲ 4.2	▲ 1.0
北海道	1.1	4.9	0.8	▲ 0.0	▲ 0.6	▲ 0.9	7.3	0.0	▲ 1.8	2.0	▲ 2.9	▲ 3.5	4.3
青森	0.5	3.5	0.7	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.7	0.7	0.0	▲ 0.8	2.2	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 0.6
岩手	▲ 0.0	2.9	0.7	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 0.7	0.7	0.0	▲ 1.1	1.7	▲ 2.1	▲ 2.8	▲ 0.4
宮城	2.7	6.4	0.9	1.4	▲ 0.7	▲ 0.9	4.7	0.0	▲ 1.4	2.2	▲ 2.6	▲ 4.6	0.6
秋田	▲ 0.1	2.5	0.6	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 2.8	▲ 0.0	▲ 0.8	1.7	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 3.5
山形	0.9	5.2	1.1	▲ 0.5	0.2	▲ 1.1	0.1	▲ 0.0	▲ 2.2	1.9	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 3.0
福島	▲ 0.1	4.7	1.2	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 1.2	3.4	0.0	▲ 2.8	1.9	▲ 4.3	▲ 3.4	0.6
茨城	2.6	7.4	1.1	1.2	1.1	▲ 1.1	1.8	▲ 0.0	▲ 2.4	2.2	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 3.1
栃木	3.4	7.7	1.0	2.0	1.5	▲ 1.0	0.7	▲ 0.0	▲ 1.7	2.4	▲ 3.0	▲ 3.5	▲ 4.2
群馬	3.7	8.4	1.1	2.2	1.1	▲ 1.1	5.2	0.0	▲ 2.3	2.2	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 0.9
埼玉	3.6	9.2	1.3	1.8	1.1	▲ 1.3	3.3	▲ 0.0	▲ 2.8	2.4	▲ 4.6	▲ 5.2	▲ 3.2
千葉	3.2	8.8	1.3	1.5	0.9	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 0.0	▲ 2.9	2.3	▲ 4.6	▲ 5.1	▲ 6.9
東京	3.3	9.2	1.4	1.3	0.9	▲ 1.4	0.2	▲ 0.0	▲ 3.3	2.2	▲ 5.2	▲ 5.6	▲ 6.2
神奈川	3.7	8.4	1.1	2.1	1.2	▲ 1.1	5.3	0.0	▲ 2.4	2.0	▲ 3.9	▲ 4.7	▲ 0.9
新潟	1.7	4.8	0.8	0.6	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 4.8	▲ 0.0	▲ 0.9	2.1	▲ 2.0	▲ 3.2	▲ 7.3
富山	6.2	8.3	0.5	5.6	1.4	▲ 0.5	8.9	0.0	▲ 1.1	0.8	▲ 1.7	▲ 5.6	1.3
石川	2.2	5.4	0.8	1.1	▲ 0.5	▲ 0.8	6.0	0.0	▲ 1.8	1.3	▲ 2.8	▲ 4.4	1.8
福井	4.1	8.6	1.0	2.8	0.6	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.0	▲ 2.4	1.9	▲ 3.6	▲ 5.6	▲ 6.9
山梨	1.7	6.4	1.2	0.2	▲ 0.1	▲ 1.2	3.5	0.0	▲ 2.3	2.2	▲ 3.8	▲ 4.1	▲ 0.6
長野	2.7	5.2	0.6	1.9	▲ 0.5	▲ 0.6	2.3	▲ 0.0	▲ 1.1	1.3	▲ 1.8	▲ 4.2	▲ 1.4
岐阜	2.3	7.4	1.3	0.5	0.5	▲ 1.3	9.8	0.0	▲ 2.9	1.9	▲ 4.6	▲ 4.7	4.2
静岡	2.2	6.3	1.1	0.7	0.2	▲ 1.1	10.9	0.0	▲ 1.7	2.3	▲ 3.1	▲ 3.5	6.7
愛知	4.0	9.3	1.3	2.1	1.5	▲ 1.3	7.4	0.0	▲ 2.9	2.1	▲ 4.6	▲ 5.2	0.3
三重	2.8	6.9	1.0	1.4	0.4	▲ 1.0	1.8	▲ 0.0	▲ 1.9	1.9	▲ 3.3	▲ 4.3	▲ 3.0
滋賀	3.3	7.0	0.9	2.1	▲ 0.2	▲ 0.9	1.5	▲ 0.0	▲ 1.7	1.9	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 3.3
京都	3.8	8.1	0.9	2.5	0.1	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 1.9	2.2	▲ 3.1	▲ 5.4	▲ 5.8
大阪	3.3	7.8	1.1	1.8	0.8	▲ 1.1	5.6	0.0	▲ 2.1	2.1	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 0.0
兵庫	3.2	6.9	0.9	1.9	0.6	▲ 0.9	1.8	▲ 0.0	▲ 1.8	1.8	▲ 3.0	▲ 4.3	▲ 3.1
奈良	3.0	6.5	1.0	1.6	▲ 0.4	▲ 1.0	3.5	0.0	▲ 1.2	2.1	▲ 2.5	▲ 4.5	▲ 0.8
和歌山	2.3	5.8	0.8	1.3	0.9	▲ 0.8	0.1	▲ 0.0	▲ 1.7	1.6	▲ 2.7	▲ 3.1	▲ 3.8
鳥取	1.5	5.0	0.9	0.4	▲ 0.7	▲ 0.9	2.0	0.0	▲ 1.2	2.1	▲ 2.4	▲ 3.4	▲ 0.8
島根	2.2	4.3	0.6	1.4	▲ 0.6	▲ 0.6	5.7	0.0	▲ 0.3	1.7	▲ 1.1	▲ 3.1	3.0
岡山	1.7	4.8	0.8	0.6	▲ 0.0	▲ 0.8	4.7	0.0	▲ 1.0	2.0	▲ 2.1	▲ 2.7	2.0
広島	1.9	5.4	0.9	0.6	0.2	▲ 0.9	8.5	0.0	▲ 1.2	2.3	▲ 2.4	▲ 2.8	5.3
山口	1.5	4.9	0.9	0.2	▲ 1.0	▲ 0.9	2.4	0.0	▲ 1.2	2.1	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 0.3
徳島	1.5	4.9	0.8	0.4	0.1	▲ 0.8	11.4	0.0	▲ 1.2	2.1	▲ 2.3	▲ 2.6	8.4
香川	2.0	6.8	1.1	0.5	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 5.8	▲ 0.0	▲ 1.5	3.1	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 9.0
愛媛	2.4	5.9	0.8	1.3	0.7	▲ 0.8	1.9	▲ 0.0	▲ 1.5	1.9	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 1.9
高知	1.6	4.1	0.5	0.9	▲ 0.5	▲ 0.5	5.4	0.0	▲ 0.2	2.2	▲ 0.9	▲ 2.3	3.4
福岡	3.7	7.4	1.0	2.3	1.8	▲ 1.0	6.5	0.0	▲ 1.6	1.9	▲ 2.9	▲ 3.5	1.0
佐賀	0.9	4.2	1.0	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 1.0	24.5	0.0	▲ 0.9	2.4	▲ 2.4	▲ 2.4	22.3
長崎	1.7	3.9	0.6	0.9	▲ 0.3	▲ 0.6	4.6	0.0	▲ 0.3	1.9	▲ 1.1	▲ 2.2	2.6
熊本	2.5	5.2	0.7	1.5	0.2	▲ 0.7	9.4	0.0	▲ 0.4	2.2	▲ 1.3	▲ 2.6	6.3
大分	3.0	5.5	0.6	2.1	0.8	▲ 0.6	0.2	▲ 0.0	▲ 0.4	2.1	▲ 1.2	▲ 2.5	▲ 3.1
宮崎	2.0	5.0	0.8	0.9	1.0	▲ 0.8	4.1	0.0	▲ 0.5	2.4	▲ 1.6	▲ 1.5	1.5
鹿児島	1.3	3.3	0.6	0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	48.8	0.1	0.1	2.1	▲ 0.8	▲ 1.6	47.0
沖縄	2.3	5.8	0.8	1.2	0.4	▲ 0.8	3.5	0.0	▲ 1.4	1.9	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 0.4

注) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注) 構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が7,481円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.07、30.6日、80円となっていた。一方、佐賀県が4,467円と最も低く、3要素に分解すると、2.85、23.0日、68円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

令和3年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方箋1枚当たり薬剤料 (円)				処方箋1枚当たり薬剤料			
	処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	5,666	2.76	28.1	73	▲ 3.7	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 3.2
北海道	7,034	3.02	33.1	70	▲ 3.2	▲ 0.4	0.5	▲ 3.4
青 森	6,126	2.85	30.5	70	▲ 2.0	0.3	1.2	▲ 3.5
岩 手	6,319	2.86	32.6	68	▲ 2.5	0.4	0.6	▲ 3.5
宮 城	5,642	2.73	29.2	71	▲ 2.7	0.2	▲ 0.5	▲ 2.5
秋 田	6,702	2.98	32.1	70	▲ 1.9	0.4	0.7	▲ 3.0
山 形	5,637	2.78	29.0	70	▲ 3.5	0.5	▲ 0.4	▲ 3.6
福 島	6,104	2.90	30.4	69	▲ 4.4	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 4.1
茨 城	6,517	2.81	31.2	74	▲ 4.0	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 3.5
栃 木	5,701	2.82	28.4	71	▲ 3.1	0.3	▲ 0.1	▲ 3.3
群 馬	5,779	2.83	28.3	72	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 3.1
埼 玉	5,465	2.68	28.9	71	▲ 5.0	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 3.7
千 葉	5,854	2.64	30.6	73	▲ 4.9	0.2	▲ 1.3	▲ 3.9
東 京	5,408	2.60	27.3	76	▲ 5.5	▲ 0.2	▲ 1.9	▲ 3.5
神奈川	5,416	2.56	28.4	74	▲ 4.4	0.2	▲ 1.3	▲ 3.3
新 潟	5,471	2.57	31.4	68	▲ 2.7	0.3	0.3	▲ 3.3
富 山	6,710	2.80	31.4	76	▲ 2.2	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.1
石 川	6,870	2.95	30.4	76	▲ 3.4	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 2.6
福 井	6,867	2.92	30.2	78	▲ 4.6	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 3.3
山 梨	5,692	2.66	31.5	68	▲ 4.4	0.0	▲ 0.5	▲ 3.9
長 野	6,419	2.79	31.5	73	▲ 2.1	0.4	▲ 0.2	▲ 2.3
岐 阜	5,259	2.82	26.7	70	▲ 5.1	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 4.0
静 岡	5,158	2.64	28.2	69	▲ 3.4	0.4	▲ 0.2	▲ 3.5
愛 知	5,160	2.68	26.0	74	▲ 5.0	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 3.8
三 重	5,424	2.70	27.4	73	▲ 3.6	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 3.3
滋 賀	6,053	2.66	30.2	75	▲ 2.4	0.4	▲ 0.5	▲ 2.3
京 都	6,906	2.86	29.1	83	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 2.2
大 阪	5,736	2.87	25.8	77	▲ 3.9	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 3.1
兵 庫	5,413	2.67	26.7	76	▲ 3.7	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 3.1
奈 良	5,118	2.69	28.3	67	▲ 2.4	0.5	▲ 0.2	▲ 2.6
和歌山	6,125	2.87	28.1	76	▲ 2.9	▲ 0.4	0.2	▲ 2.8
鳥 取	6,214	2.87	27.5	79	▲ 2.7	0.3	▲ 0.0	▲ 3.0
島 根	5,791	2.97	27.5	71	▲ 1.4	0.2	0.3	▲ 1.9
岡 山	5,306	2.88	26.7	69	▲ 2.4	▲ 0.1	1.0	▲ 3.2
広 島	5,455	2.83	25.5	75	▲ 2.7	0.0	0.4	▲ 3.2
山 口	5,262	2.74	26.5	72	▲ 3.1	▲ 0.2	0.4	▲ 3.3
徳 島	6,169	2.98	26.4	78	▲ 2.5	0.6	0.1	▲ 3.2
香 川	6,112	2.77	27.2	81	▲ 3.2	▲ 0.3	0.1	▲ 3.0
愛 媛	6,195	2.71	28.8	79	▲ 2.7	0.1	0.3	▲ 3.0
高 知	7,481	3.07	30.6	80	▲ 0.8	▲ 0.1	0.4	▲ 1.1
福 岡	5,034	2.86	23.9	73	▲ 3.0	▲ 0.3	0.1	▲ 2.8
佐 賀	4,467	2.85	23.0	68	▲ 2.5	0.0	1.2	▲ 3.6
長 崎	5,533	3.00	26.5	70	▲ 1.5	0.1	1.4	▲ 2.9
熊 本	5,431	2.99	25.6	71	▲ 0.7	▲ 0.4	1.5	▲ 1.8
大 分	5,991	3.10	26.6	73	▲ 1.0	▲ 0.3	0.9	▲ 1.5
宮 崎	5,112	2.85	26.7	67	▲ 1.6	0.5	1.0	▲ 3.0
鹿 児 島	5,060	2.98	25.7	66	▲ 1.2	0.2	1.7	▲ 3.0
沖 縄	5,832	2.73	31.1	69	▲ 2.7	0.3	▲ 0.1	▲ 2.8

注) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和3年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の89.2%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の23.5%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは徳島県の78.5%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは京都府の17.2%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは愛知県の+0.3%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは東京都の▲0.7%であった。一方、最も低かったのは数量ベース(新指標)、薬剤料ベースともに福井県であり、それぞれ▲0.9%、▲2.0%であった。

令和4年3月
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年同期差			後発医薬品 調剤率
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	
全 国	82.1	59.1	20.2	78.8	▲ 0.0	0.0	▲ 1.2	1.2
北海道	83.4	60.5	20.8	81.0	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 1.4	0.9
青 森	82.2	60.2	21.0	80.5	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 1.1	1.1
岩 手	86.4	62.6	22.8	82.6	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.6	1.0
宮 城	84.3	60.0	21.2	81.1	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.4	1.0
秋 田	83.3	60.3	21.3	82.1	▲ 0.0	0.0	▲ 1.3	1.3
山 形	85.6	62.6	22.4	82.4	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 1.4	1.2
福 島	83.3	60.5	22.1	82.7	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 1.1	0.9
茨 城	81.8	59.4	20.4	79.3	▲ 0.0	0.1	▲ 0.9	1.6
栃 木	84.2	61.4	22.4	81.9	0.0	0.1	▲ 1.2	1.4
群 馬	84.6	61.7	21.4	81.6	▲ 0.2	0.0	▲ 1.2	1.3
埼 玉	82.7	60.2	21.5	79.7	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 1.1	1.3
千 葉	82.5	59.7	20.9	79.0	▲ 0.0	0.1	▲ 1.1	1.3
東 京	78.5	55.2	19.0	74.4	0.2	0.3	▲ 0.7	1.8
神奈川	80.4	57.5	19.8	75.9	▲ 0.0	0.1	▲ 1.2	1.6
新 潟	83.9	60.9	22.1	81.1	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.6	0.9
富 山	83.7	60.3	19.3	80.0	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 1.8	0.3
石 川	82.5	58.4	18.6	78.3	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 1.9	0.7
福 井	83.1	60.3	19.0	79.7	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 2.0	0.7
山 梨	81.8	59.6	21.8	77.3	0.1	0.2	▲ 1.3	1.2
長 野	84.4	61.2	20.4	79.9	▲ 0.2	0.1	▲ 1.4	1.3
岐 阜	81.4	58.7	20.7	80.3	0.3	0.3	▲ 1.2	1.1
静 岡	83.4	60.9	21.8	80.5	▲ 0.1	0.1	▲ 1.0	1.3
愛 知	83.1	59.1	20.2	80.0	0.3	0.3	▲ 1.1	1.0
三 重	82.6	59.9	20.6	79.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 1.1	1.0
滋 賀	82.4	59.7	19.7	78.7	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.2	0.8
京 都	79.6	56.6	17.2	76.5	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.3	1.1
大 阪	79.9	57.5	18.5	76.9	0.0	0.0	▲ 1.2	1.2
兵 庫	81.4	58.6	18.7	77.2	0.1	0.1	▲ 1.3	1.0
奈 良	79.4	58.0	20.8	76.3	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 1.3	1.4
和歌山	80.2	57.4	18.6	76.9	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 1.2	0.7
鳥 取	84.7	61.8	19.7	79.0	▲ 0.5	▲ 0.0	▲ 1.4	1.0
島 根	85.2	62.1	21.3	80.9	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 1.7	0.8
岡 山	83.5	60.4	21.5	79.5	0.2	0.1	▲ 1.4	1.0
広 島	80.4	57.1	19.2	78.0	0.1	0.2	▲ 1.0	0.9
山 口	84.3	61.6	20.9	81.5	▲ 0.0	0.0	▲ 1.6	0.8
徳 島	78.5	57.2	17.7	77.9	0.2	0.0	▲ 2.0	1.0
香 川	80.2	56.9	17.8	76.8	0.2	▲ 0.1	▲ 1.4	1.0
愛 媛	83.2	60.6	18.8	79.5	0.1	0.2	▲ 1.5	1.0
高 知	79.5	58.6	19.1	77.9	0.3	0.6	▲ 0.9	1.2
福 岡	82.9	59.3	19.7	80.0	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 1.2	0.8
佐 賀	84.3	60.8	21.9	81.6	0.1	▲ 0.0	▲ 1.2	1.2
長 崎	83.4	60.1	20.5	81.1	0.1	0.2	▲ 1.4	1.1
熊 本	85.0	62.3	21.2	83.7	0.0	0.1	▲ 1.7	0.7
大 分	82.9	60.9	20.8	80.9	0.0	0.2	▲ 1.5	1.0
宮 崎	85.9	63.0	22.5	83.2	0.1	0.2	▲ 1.1	0.9
鹿 児 島	87.2	64.3	23.5	83.8	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 1.4	0.9
沖 縄	89.2	66.6	22.1	84.5	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 1.6	1.0

注)保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆2,853億円であり、医科診療所が4兆3,934億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆3,415億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が7,109円であったのに対し、医科病院が19,020円と高く、中でも大学病院が36,636円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費の伸び率が最も高かったのは産婦人科の+3.4%であり、最も低かったのは小児科の▲7.0%であった。

令和3年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、医科病院では82.3%、医科診療所では82.0%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の87.6%であり、最も低かったのは大学病院の74.4%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは産婦人科の+1.0%であり、最も小さかったのは眼科の▲4.9%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和3年度

	実数	総数																				
		医科																		歯科		
		病院								診療所										病院	診療所	
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
調剤医療費(億円)	77,059	76,787	32,853	6,296	13,998	12,476	82	9,221	23,632	43,934	23,415	1,694	1,370	3,146	2,805	517	1,856	2,320	6,812	161	65	96
処方箋枚数(万枚)	79,870	79,072	17,273	1,719	5,994	9,482	78	7,691	9,582	61,799	26,572	3,773	1,777	5,881	5,533	753	4,415	4,979	8,114	661	209	451
対前年度(%)																						
調剤医療費	2.8	2.7	3.2	6.4	3.8	1.0	▲8.9	0.3	4.4	2.4	2.6	16.0	▲6.5	▲1.5	3.3	13.6	▲1.1	3.8	1.9	0.9	1.7	0.3
処方箋枚数	4.9	4.9	2.9	3.2	2.4	3.4	▲6.9	3.3	2.7	5.5	5.8	24.7	▲3.9	4.3	0.7	9.9	0.7	5.9	5.6	1.1	5.8	▲0.9

注1) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注2) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

表14-2 後発医薬品割合

令和4年3月
(単位:%)

	実数	総数																				
		医科																		歯科		
		病院								診療所										病院	診療所	
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
数量ベース(新指標)	82.1	82.1	82.3	74.4	82.8	83.5	81.4	83.6	81.3	82.0	83.1	81.5	83.2	80.7	79.6	87.6	76.5	84.4	78.9	88.4	90.7	85.7
薬剤料ベース	20.2	20.2	14.8	8.3	13.2	21.0	22.8	23.1	12.2	25.3	24.7	21.2	27.1	34.9	19.0	25.9	23.6	32.2	24.0	34.0	29.4	41.9
対前年																						
数量ベース(新指標)	▲0.0	▲0.0	▲0.4	▲0.7	▲0.5	▲0.2	0.1	0.0	▲0.7	0.1	0.3	0.5	0.3	0.7	0.8	1.0	▲4.9	▲0.2	▲0.5	0.3	▲0.1	0.8
薬剤料ベース	▲1.2	▲1.2	▲1.6	▲1.3	▲1.7	▲1.3	▲1.1	▲1.0	▲1.6	▲0.6	▲1.1	▲1.9	▲0.9	1.1	▲1.9	▲1.6	4.3	0.2	▲0.0	▲0.7	▲1.1	0.5

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは被用者保険の2兆7,613億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,048円であり、伸び率が最も大きかったのは市町村国保の▲1.1%、最も小さかったのは共済組合の▲2.4%であった。

令和3年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、最も高かったのは公費の89.0%、最も低かったのは国保組合の80.5%であった。伸び幅が最も大きかったのは後期高齢者の+0.4%、最も小さかったのは公費の▲1.5%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和3年度

実数	調剤医療費(億円)	総数										公費
		医療保険適用計										
		被用者保険計			国民健康保険計				後期高齢者			
協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合								
		77,059	73,672	27,613	15,118	2,861	9,588	19,098	18,020	1,078	26,961	3,387
	処方箋枚数(万枚)	79,870	77,058	34,190	18,046	3,801	12,292	18,522	17,313	1,209	24,347	2,811
対前年度比(%)	調剤医療費	2.8	2.9	6.0	5.7	6.5	6.2	2.1	2.0	4.5	0.4	0.3
	処方箋枚数	4.9	5.0	8.2	7.6	9.1	8.8	3.3	3.1	6.6	2.1	1.6

注)「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

表15-2 後発医薬品割合

令和4年3月
(単位:%)

実数	数量ベース(新指標)	総数										公費
		医療保険適用計										
		被用者保険計			国民健康保険計				後期高齢者			
協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合								
		82.1	81.7	82.6	82.9	81.8	82.2	81.9	82.0	80.5	80.9	89.0
	薬剤料ベース	20.2	20.0	19.2	19.4	18.4	19.2	19.3	19.4	18.2	21.3	24.1
同対前年	数量ベース(新指標)	▲0.0	0.1	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.2	0.0	0.4	▲1.5
	薬剤料ベース	▲1.2	▲1.2	▲0.9	▲1.0	▲1.0	▲0.8	▲1.2	▲1.2	▲0.8	▲1.4	▲1.3

注1)「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2)新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和3年度

		総数										公費	
		医療保険適用計							国民健康保険計				後期高齢者
		被用者保険計			国民健康保険計								
		協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合							
実数 (円)	調剤医療費	9,648	9,561	8,077	8,377	7,527	7,800	10,311	10,408	8,916	11,074	12,048	
	技術料	2,517	2,499	2,304	2,327	2,261	2,284	2,481	2,492	2,324	2,785	3,022	
	構成割合(%)	26.1	26.1	28.5	27.8	30.0	29.3	24.1	23.9	26.1	25.1	25.1	
	調剤技術料	2,020	2,002	1,777	1,804	1,726	1,752	1,983	1,995	1,814	2,332	2,521	
	調剤基本料	777	775	779	773	780	788	762	760	780	781	812	
	調剤料	1,059	1,048	879	912	817	849	1,084	1,096	919	1,258	1,353	
	加算料	185	179	119	119	129	116	137	139	115	294	356	
	薬学管理料	497	497	527	522	536	531	498	497	510	453	502	
	薬剤料	7,112	7,043	5,757	6,032	5,253	5,503	7,806	7,892	6,574	8,269	8,996	
	構成割合(%)	73.7	73.7	71.3	72.0	69.8	70.6	75.7	75.8	73.7	74.7	74.7	
	内服薬	5,668	5,607	4,263	4,539	3,715	4,022	6,353	6,448	4,996	6,926	7,338	
	屯服薬他	41	39	44	46	44	41	44	43	44	30	89	
	注射薬	562	560	668	690	682	632	626	620	703	357	628	
	外用薬	841	837	782	758	813	808	783	780	830	957	941	
	(再掲)後発医薬品	1,426	1,399	1,079	1,150	940	1,017	1,498	1,521	1,166	1,773	2,176	
	特定保険医療材料料	20	19	16	18	13	13	25	25	19	20	29	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
対前年度比 (%)	調剤医療費	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 2.1	▲ 1.7	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.2	
	技術料	2.0	2.0	2.6	2.5	2.7	2.7	2.2	2.2	2.4	1.9	2.5	
	構成割合(%)	1.0	1.0	1.3	1.2	1.5	1.4	0.8	0.8	1.1	0.9	0.9	
	調剤技術料	2.2	2.2	2.8	2.8	2.8	2.9	2.6	2.6	2.6	2.2	2.7	
	調剤基本料	6.8	6.8	7.0	6.9	6.9	7.1	6.9	6.9	6.9	6.5	6.8	
	調剤料	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.0	0.1	▲ 0.8	0.1	0.5	
	加算料	▲ 0.0	▲ 0.1	1.3	0.9	2.9	1.5	0.5	0.4	2.0	0.7	1.9	
	薬学管理料	1.3	1.3	1.8	1.6	2.3	1.9	0.8	0.7	1.8	0.4	1.7	
	薬剤料	▲ 3.4	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.5	▲ 4.3	▲ 2.2	▲ 2.1	▲ 3.4	▲ 2.9	▲ 2.4	
	構成割合(%)	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 0.9	
	内服薬	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 4.4	▲ 3.9	▲ 5.1	▲ 4.8	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 3.9	▲ 2.9	▲ 3.0	
	屯服薬他	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 6.1	▲ 5.0	▲ 8.9	▲ 7.0	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 6.7	▲ 2.5	▲ 3.5	
	注射薬	7.9	7.9	6.3	6.5	5.8	6.1	7.8	7.9	5.5	9.3	10.0	
	外用薬	▲ 7.1	▲ 7.1	▲ 8.1	▲ 7.4	▲ 8.9	▲ 8.8	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 7.3	▲ 6.6	▲ 5.4	
	(再掲)後発医薬品	▲ 4.2	▲ 4.2	▲ 5.5	▲ 4.9	▲ 6.7	▲ 6.0	▲ 3.9	▲ 3.7	▲ 5.5	▲ 2.0	▲ 2.4	
	特定保険医療材料料	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 3.8	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 1.5	1.8	0.4	
構成割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0		

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 対前年度比(%)の構成割合は対前年度差を示している。

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

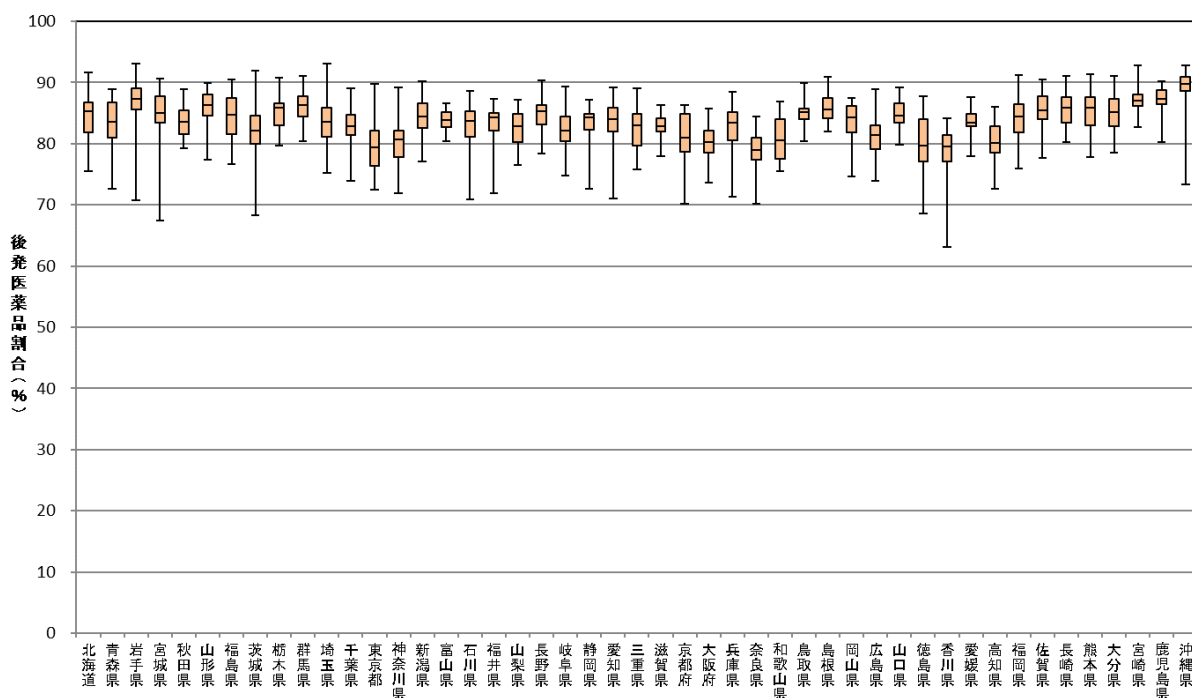
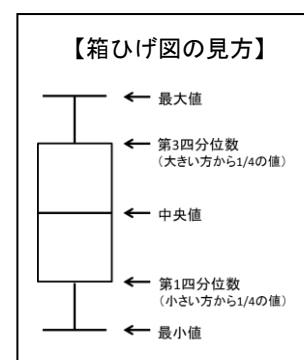


図1 各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

- (注1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和4年3月調剤分)
 (注2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が3軒以下の地域は除外している。
 (注3) 長方形の下側の辺は第1四分位数、上側の辺は第3四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/21/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17 市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）（上位 20 位）

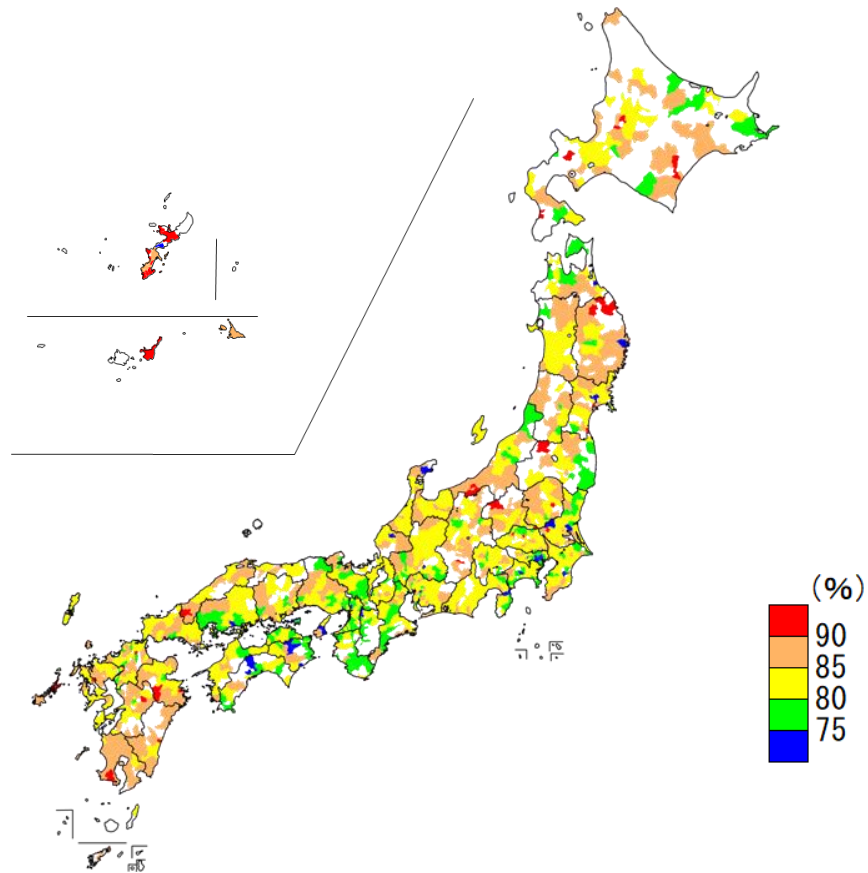
順位	都道府県	市町村名	割合 (%)	順位	都道府県	市町村名	割合 (%)
1	埼玉	秩父郡長瀬町	93.0	11	沖縄	国頭郡本部町	91.6
2	岩手	九戸郡軽米町	93.0	12	熊本	阿蘇郡南阿蘇村	91.3
3	宮崎	児湯郡新富町	92.8	13	福岡	田川郡福智町	91.3
4	沖縄	島尻郡八重瀬町	92.8	14	北海道	赤平市	91.2
5	沖縄	島尻郡与那原町	92.3	15	大分	津久見市	91.1
6	岩手	久慈市	92.0	16	群馬	吾妻郡中之条町	91.1
7	茨城	結城郡八千代町	92.0	17	長崎	南松浦郡新上五島町	91.1
8	沖縄	糸満市	91.7	18	北海道	檜山郡江差町	91.1
9	北海道	空知郡奈井江町	91.6	19	北海道	中川郡幕別町	91.0
10	沖縄	石垣市	91.6	20	島根	鹿足郡津和野町	91.0

(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 4 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2 市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 4 年 3 月調剤分)

(注 2) 集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。